

女性活躍推進企業として「えるぼし」の最高位3つ星に認定

女性活躍推進法に基づく優良企業として、厚生労働省から「えるぼし」の最高位である3つ星に認定されました。同認定は女性が活躍しやすい職場環境であるかという観点から評価項目が定められています。当社は1948年に産休・育児時間を導入するなど、早くから働きやすい職場づくりに取り組んできました。また、2015年に女性活躍推進プロジェクトを発足させ、2022年には人事部門内にDE&I推進の専門組織を設立するなど、より本格的に活動を進め、一人ひとりが個性を生かしながら能力を発揮できる企業を目指しています。(2023.9.29)



慈恵大学と共同で「骨の健康」関連の概念実証を実施
島津製作所は関連新事業を開始

島津製作所と(学)慈恵大学は骨粗しょう症の予防と早期発見の仕組みの構築を目指し、共同で「骨の健康」関連の概念実証を実施しました。実証データをもとに当社は健診センターをはじめとする骨ドック施設などに向けて「骨の健康」関連の新事業を開始します。骨密度測定装置、X線画像診断装置、椎体計測ソフトウェア「Smart QM™」、医療従事者向けの対面指導マニュアルなどに加え、日常の健康データおよび医療機関が取得した検査データを収集・見える化する健康増進プラットフォーム「SUPOFULL™(サポフル)」も提供する予定です。骨粗しょう症の予防と早期発見を実現して、社会全体の「骨の健康」増進に貢献します。(2023.11.28) ※本誌P7-8に関連記事掲載

ISEKADOと共同開発したクラフトビール「香調」発売
当社製分析機器で野生酵母の香り成分を特定

当社とISEKADOが共同開発したクラフトビール「香調(こうちょう) BREWED ON SCIENCE by ISEKADO and SHIMADZU Innovation 1」が限定発売されました。両社は2018年から共同でビールの成分の網羅解析などを行っています。本商品は分析装置による科学的なデータに基づいて原料と醸造工程を調整することで安定的な発酵に成功し、特徴的な香りを生かしつつ、ドライさとバランスを感じられる味わいを生み出しています。(2024.1.23) ※本誌42号で同社代表取締役社長・鈴木成宗氏を特集



食と認知機能の関係性を調査
江別市・北海道情報大学・農研機構らと共同コホート研究を開始

島津製作所、北海道江別市、(学)電子開発学園北海道情報大学、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構、(一社)セルフケアフード協議会は、軽度認知障害(MCI)の血液バイオマーカーの探索、食と認知機能の関係性調査などを目的とした共同コホート研究を開始しました。2023年4月1日時点で55歳以上75歳以下の江別市民(最大1200名)に対して10年間にわたり認知機能検査、体力測定、食・生活習慣に関するアンケート調査を行います。当社はAmyloid MS™ CLによる血中アミロイドペプチド測定やLCMSを用いたMCIスクリーニング検査プラスでの血液バイオマーカー測定結果の解析および評価を担当します。(2023.9.12)

長崎市に「Shimadzu Nagasaki Collaboration Lab」を開所
感染症対策、海洋事業、情報/セキュリティの研究開発を推進

「感染症対策」「海洋事業」「情報/セキュリティ」の研究開発拠点として、長崎市にShimadzu Nagasaki Collaboration Labを開所しました。感染症対策では長崎大学熱帯医学研究所と感染症の原因となる病原体を検出する共同研究をし、PCR自動検査装置や検査試薬の技術を活用した病原体を高感度に検出できる装置や試薬の開発を進めます。海洋事業では、海中ロボットの開発や洋上海中通信技術の整備を行い、長崎大学海洋未来イノベーション機構や長崎県とともに水産業に貢献していきます。情報/セキュリティでは全国初の情報セキュリティ学科を設置した長崎県立大学に社員1名を派遣し、「脆弱性情報」に関する共同研究をしています。(2023.11.1)

2023年度島津賞・島津奨励賞受賞者決定
-研究開発助成は23件を選定-

島津科学技術振興財団主催の第43回島津賞が京都大学大学院医学研究科の岩田想氏に贈られました。同賞は科学計測の基礎的な研究における功労者を表彰するものです。岩田氏は医学・生化学的に重要な膜蛋白質の構造生物研究において、16種類に及ぶ重要な膜蛋白質の立体構造等を解明しました。この成果は生体における膜蛋白質の動きを解明するだけでなく、新しい医薬品開発を促す重要な手掛かりとなります。なお、島津奨励賞には3名が選出され、科学計測の基礎的研究を対象とする国内の研究者を助成する研究開発助成では23件が採択されました。(2023.12.6)

島津評論 Vol.80 [1・2] (2023)
●詳しくは WEB をご覧ください。

<読者のみなさまの声> ◆モノづくり、研究、チームを盛り上げるスポーツ選手、好きなことに取り組んでいる方のお話は面白いです。日々の生活に追われて過ごしていますが、じっくりと好きなことや仕事に真摯に向き合う時間を過ごしたいなと思いました。◆男性育休の記事は現代における問題や行先を照らしているような気がして、とても感慨深い内容でした。◆日本酒が好きなので発酵のページはとて面白く興味深かったです。◆虫が作ったものを食べるという、蜂蜜が思い起こされましたが、記事ではフンに着目したということが驚きでした。昆虫食という言葉聞くことが増えてきましたが、虫そのものは抵抗があるので、お茶など別の形での付き合い方が発展すれば良いなと思いました。◆登場されている方の熱意が伝わってきてこちらもやる気が出ます。

(編集部より) 無事に50号という節目を迎えることができました。なんと25年です。無駄なものが見直されていく昨今、こんなに長く続けられたのは皆さまのおかげです。本誌はPR誌と呼ぶはず、お客様とのコミュニケーション誌と呼んでいます。宣伝のためではなく、未来を切り拓く研究者や活動を行う方々の物語を通して、当社の想いと技術が未来社会に直結していることをお伝えすることが使命で、社は「科学技術で社会に貢献する」気持ちを素直に込めた冊子です。とはいえ、一言で説明できないのが島津製作所。どうしたらお伝えできるのかを悩み、考え、追求してきた25年でした。それゆえに取材先の皆さまや、読者の皆さまからいただいた多くの学びは宝物です。その編集部は51号から新体制へ。新しい「ぶーめらん」もどうぞご期待ください。

島津製作所女子テニスチーム
「SHIMADZU Breakers」日本リーグ準優勝

日本一の実業団チームを決める「第38回テニス日本リーグ」の決勝戦が、2月18日に東京体育館で開催されました。「SHIMADZU Breakers」は大会連覇と7度目の優勝を目指していたなか、準優勝となりましたが、加治遥選手が最優秀選手賞を、桑田寛子選手が優秀選手賞を受賞するなど、それぞれの選手に大きな活躍がありました。



◎長浜明